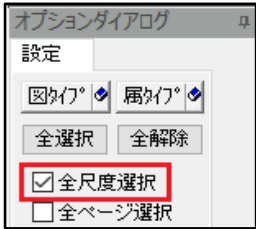
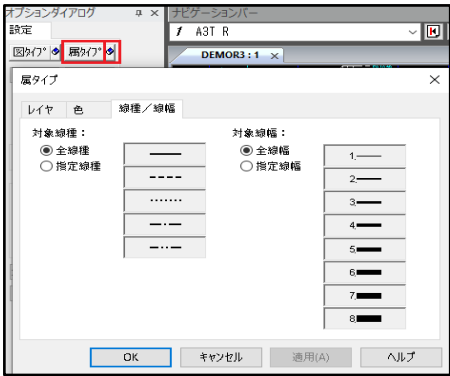
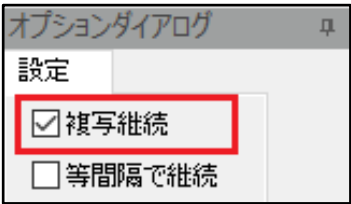


私が皆様に訪問した時に操作について色々質問を受けます。その中で、いい機能でありながら意外に知られていないと思う機能を皆様と共有したいと思います。作図基本機能に特化していますので全員に関係するものです。既にご利用している機能がほとんどだと思いますが、中には知らずに今日まで来ている機能があるかもしれませんの一通りご覧になってみてください。dio、DCX共通です。

紹介する機能が搭載されていない場合はバージョンが古いことが考えられます。ぜひ最新にバージョンアップしてください。また手順は「リボン」メニューで紹介していますが、一部を除いて旧メニュー方式でも同じです。

有限会社システムウイング 岩崎

1	<p>全尺度選択</p> <p>ECADは1ページに複数の尺度で書けますが、異なる尺度の図形を移動や削除する際に尺度を切り替えながら選択するのが面倒だと言われたことがあります。オプションダイアログに「全尺度選択」がありますのでご利用ください。</p> 
2	<p>属タイプ</p> <p>図形を選択する際にオプションダイアログの「図タイプ」は皆さん使っているのですが「属タイプ」はあまり利用していないようです。「属タイプ」ではレイヤ、色、線種/線幅で選択できるようになりますのでぜひ使ってみてください。</p>  <div data-bbox="740 1442 1193 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p>「属タイプ」「属タイプ」の右隣にある消しゴムマークで初期状態に戻ります。</p></div>
3	<p>複写継続</p> <p>連続して複写する時に「複写継続」にチェックが入っていないと毎回、複写元を選択しなければなりません。チェックが入っていると複写元を継続して複写できます。いい機能ですが意外に使われていないようです。</p> 

4 等間隔で複写

複写・移動の時に「等間隔で複写」にチェックが入っていると最初に指定した間隔で「決定」する度に複写・移動が続きます。（Ver2020で追加されました）

5 利用フォルダの前回値保持

この機能が実現するまで図面などのファイルの一覧表示は常に最上位のパスが選ばれていました。そのため最上位意外で前回と同じパスを指定したい場合は毎回、パス変更していましたが、これは結構面倒なことです。それが前回選んだパスが引き継がれるようになりました。

環境設定の「前回利用したフォルダを記憶する」をONにする必要があります。（Ver2020で改善されました）

〔環境設定〕 - 〔インターフェース設定〕 - 〔ファイル操作〕 - 〔前回利用したフォルダを記憶する〕

6 ハッチングの改善

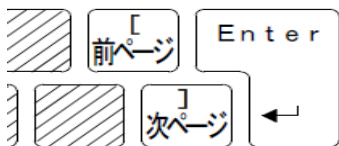
改善前のハッチングは対象となる全辺を選択する必要があり大変面倒でした。改善後は閉領域を「shift+左クリック」して「右クリック」するだけでハッチングが行われます。（Ver2020で改善されました）

7 オフセットの改善

改善前のオフセットは対象となる全辺を選択する必要があり大変面倒でした。改善後は図形上で「Shift+左クリック」して距離を入力すればオフセットが行われます。（Ver2020で改善されました）

## 8 キーボードでのページ切替

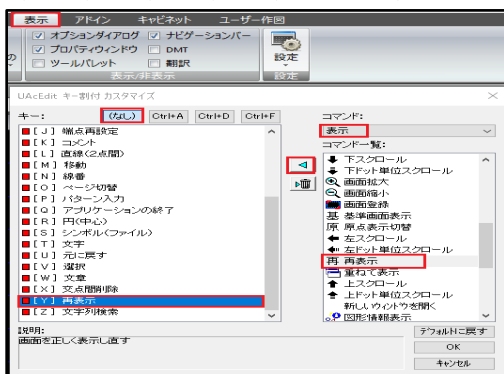
ページ切替は画面上のナビゲーションバーの矢印で切り替えられますが、キーボードのかぎカッコ〔 〕で行う方法もあります。連続で切り替える時はこちらが便利かもしれません。



## 9 キー割付

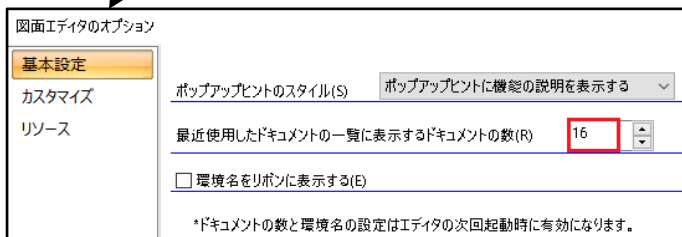
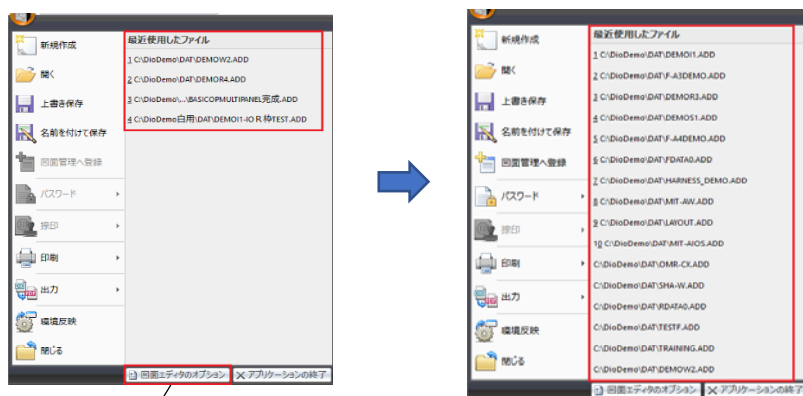
キーボードのキーにコマンドを割り当てられます。既に初期値として割り当てられていますが自分で変更もできます。私がお勧めしているのは「再表示」の割当てです。仮にYキーに「再表示」を割当てたとします。図形を削除した時に残骸が残る場合がありますが、Yキーを押すことで残骸が消えます。「再表示」はキー割付カスタマイズ画面のコマンド〔表示〕の一覧の中にあります。

〔表示〕 - 〔設定〕 - 〔キー割付〕



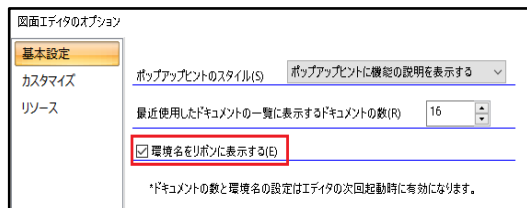
## 10 最近使用したファイルの数を増やす

最近使用したファイルの数の初期値は4です。図面エディタの「最近使用したドキュメントの一覧に表示するドキュメントの数」で最大16まで増やすことができます。(Ver2018で改善されました)



## 11 環境名をリボンに表示する

環境設定は複数持てますが、今どの環境設定を使っているか解らなくなることはないでしょうか。図面エディタのオプションの「環境名をリボンに表示する」にチェックを入れると図面エディタの画面右上に環境設定名が表示されます。

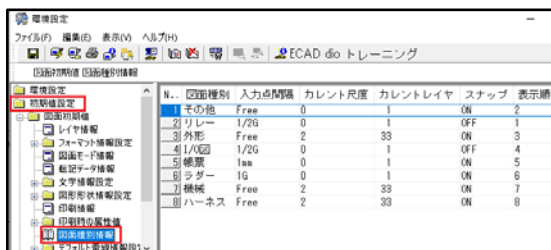


(注) この機能はリボンメニューのみです。

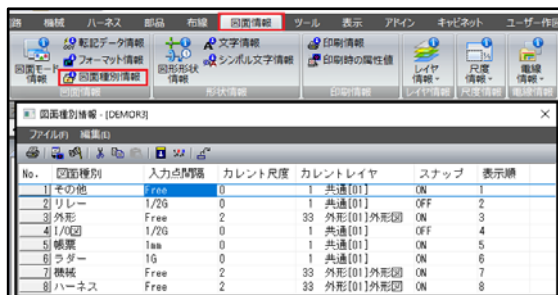
## 12 図面種別情報

図面種別ごとにカレントレイヤ、カレント尺度、入力点間隔、スナップON/OFFの初期値を変えることができます。まず新規作成時の「図面種別設定」は環境設定にあります。

〔環境設定〕 - 〔初期値設定〕 - 〔図面初期値〕 - 〔図面種別情報〕

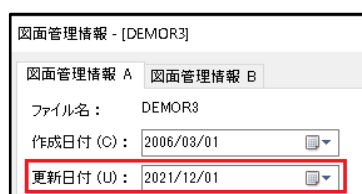


既存図面の「図面種別情報」は〔図面情報〕 - 〔図面種別情報〕にあります。



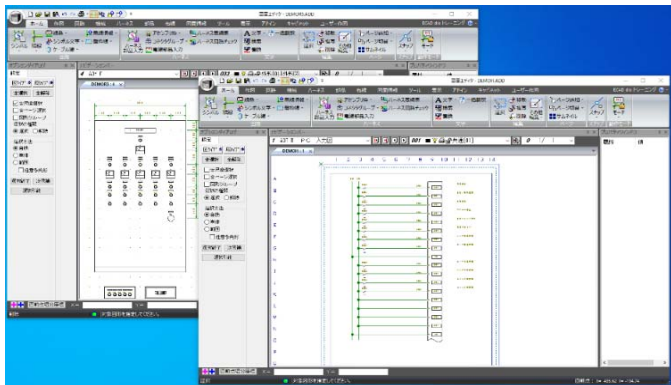
## 13 更新日付の手動設定方法

図面の更新日付は上書き保存すると当日の日付で自動更新されますが、これを手動で変更したいということはないでしょうか。〔図面情報〕 - 〔図面モード情報〕の〔日付モード〕を「マニュアル入力」にすることで可能です。その後、図面管理情報で更新日付を手動で変更して保存してください。

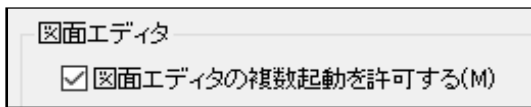


14 図面エディタの複数起動

図面エディタを複数同時に起動できます。そうすることでお互いの図面が干渉されることなく同時並行に作業ができます。環境設定の「図面エディタの複数起動を許可する」にチェックを入れることで可能になります。



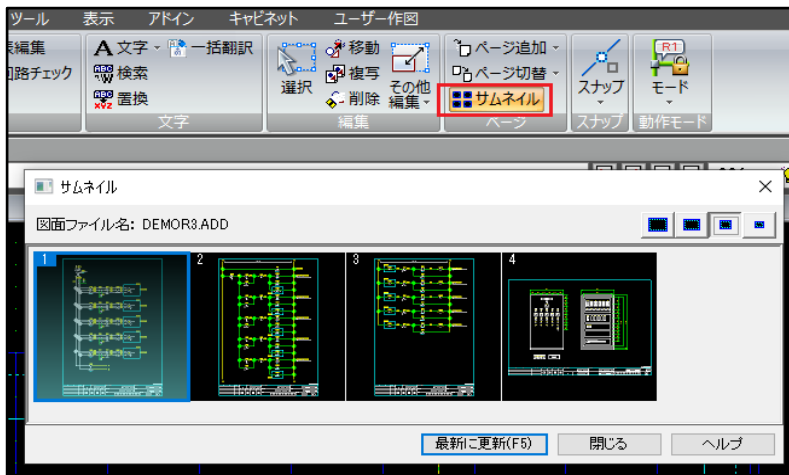
〔環境設定〕 - 〔全般〕 - 〔全般〕



15 サムネイル表示

これはほとんどの方が使われていると思いますが、ごくまれにご存じない方がおられますので紹介しておきます。サムネイルで全ページが見れたり、ページ切替えやページ削除ができますので大変便利です。

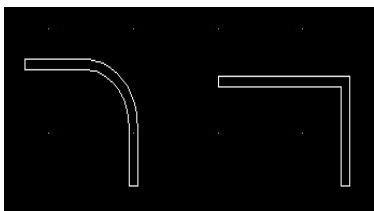
〔ホーム〕 - 〔ページ〕 - 〔サムネイル〕



16 パイプ

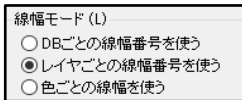
あまり知られていませんが結構、利用するケースがあるのではないのでしょうか。(Ver2018で追加されました)

〔作図〕 - 〔その他〕 - 〔パイプ〕



17 印刷時の線の太さを変える方法

印刷時の太さをもう少し太くしたいと思うことはないでしょうか。線幅モードが一番多いと思われる「レイヤごとの線幅を使う」を前提に説明します。



〔図面情報〕 - 〔印刷情報〕 - 〔線幅モード〕

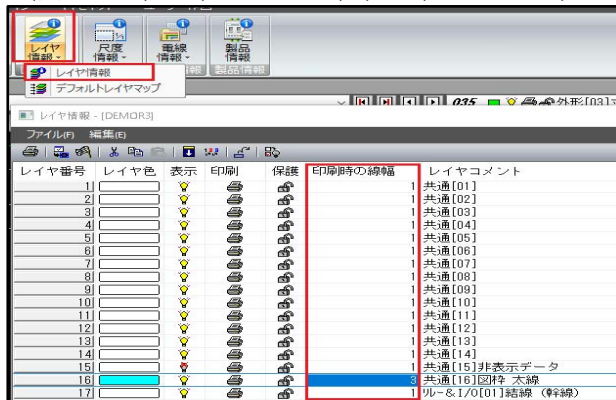
全てのレイヤは線幅 1 (初期値) を使っていますので、一番簡単なのは印刷時の線幅 1 の太さを変更することです。初期値が0.1(mm)なので0.2とか0.3に変えてみてください。

〔図面情報〕 - 〔印刷時の属性値〕 - 〔印刷の幅〕



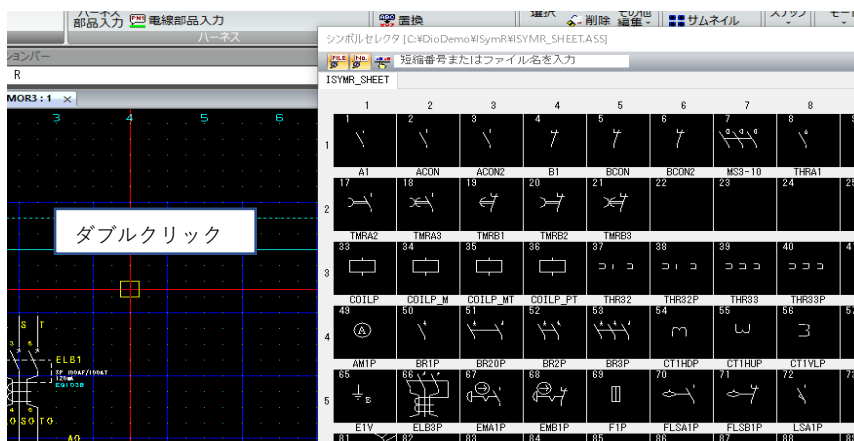
特定のレイヤを太くしたい時はレイヤ情報で線幅の番号を変えて下さい。

〔図面情報〕 - 〔レイヤ情報〕 - 〔レイヤ情報〕



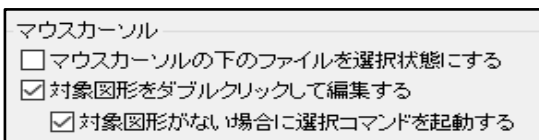
18 シンボルセクタを消す方法

シンボルセクタは何かメニューを起動すると消えますが、メニューを起動しなくても消したい場合があります。作図領域でマウスの左ボタンをダブルクリックすることで消えます。



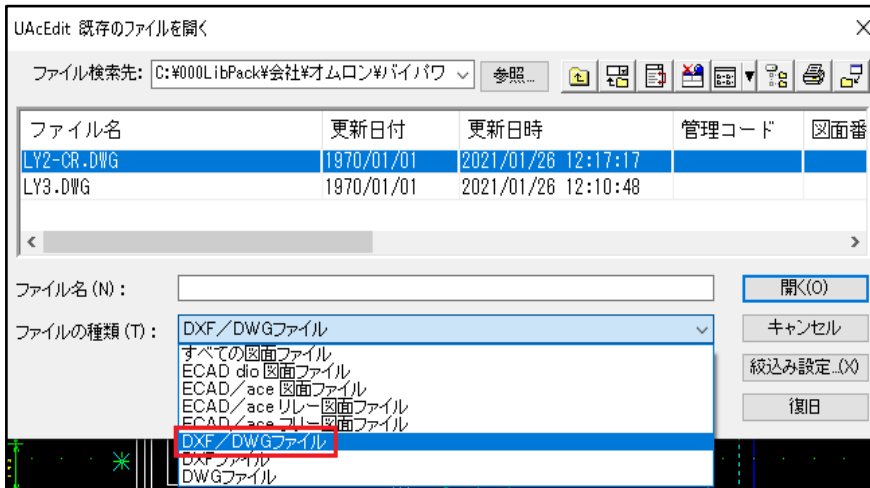
もし消えない場合は環境設定のマウスカーソルで「対象図形がない場合に選択コマンドを起動する」にチェックを入れてください。

〔環境設定〕 - 〔入出力機器設定〕 - 〔マウス設定レイヤ情報〕 - 〔マウスカーソル〕



19 DXF/DWGファイルを直接開く/直接保存

図面エディタでDXF/DWGファイルを直接開いたり、DXF/DWG形式で保存できます。開いたり、保存する際に「ファイルの種類」で「DXF/DWGファイル」を選択してください。(Ver2012で追加されました)

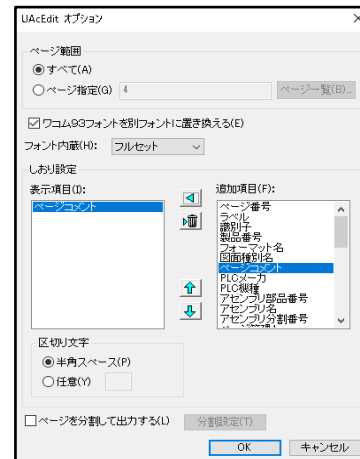
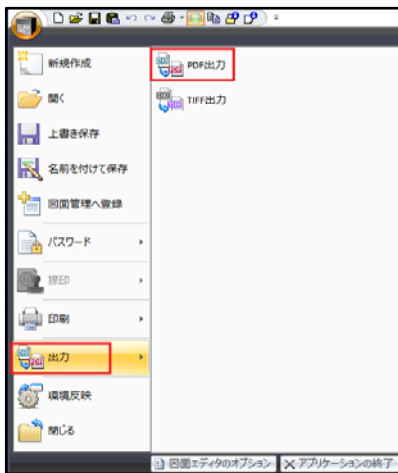


20 PDF作成ソフトが無くてもPDFファイルが作成できます

Adobe AcrobatなどPDF作成ソフトが無くてもPDFファイルを作成できます。ページNoやページコメントなどを「しおり」として差し込むこともできます。(Ver2014で追加されました)

[アプリケーションボタン] - [出力] - [PDF出力]

(しおり設定)



21 環境設定項目の文字列検索

環境設定には項目がたくさんあって20年以上ECADに携わっている私でも目的の項目を探すのにひと苦労します。項目を探す手段として文字列検索がありますので使ってみてください。

[環境設定] - [編集] - [検索]

